



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東
 コード番号 9994 URL http://www.yamaya.jp
 代表者 （役職名）代表取締役社長 社長執行役員（氏名）山内 英靖
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員経理部長 （氏名）田原口 裕基 TEL 022-742-3114
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	130,741	1.6	4,173	△29.4	4,274	△27.7	2,123	△26.9
2019年3月期第3四半期	128,676	△1.7	5,911	△3.2	5,914	△4.3	2,906	2.5

（注）包括利益 2020年3月期第3四半期 2,450百万円（△30.3%） 2019年3月期第3四半期 3,514百万円（△8.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	195.82	—
2019年3月期第3四半期	268.05	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	75,918	40,169	44.7
2019年3月期	71,454	38,423	45.2

（参考）自己資本 2020年3月期第3四半期 33,965百万円 2019年3月期 32,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2020年3月期	—	23.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	0.1	4,500	△34.7	4,500	△35.2	2,000	△37.8	184.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名)ー 除外 ー社 (社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	10,847,870株	2019年3月期	10,847,870株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,904株	2019年3月期	5,765株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	10,842,051株	2019年3月期3Q	10,842,189株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[事業全般の概況]

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に基調としては緩やかな回復が続いているものの、通商問題や中国経済の先行きなど海外の政治・経済動向の不確実性や金融資本市場の変動など、世界景気に対する警戒感が拡大し、楽観視はできない状況で推移しています。

酒販・外食業界におきましても、個人の消費マインドは緩やかな回復傾向にあるものの、依然として根強い消費者の節約志向の中、人手不足を背景にした人件費の上昇、原材料価格・エネルギー価格の高止まりなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高1,307億41百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益41億73百万円(同29.4%減)、経常利益42億74百万円(同27.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益21億23百万円(同26.9%減)となりました。

売上高につきまして、酒販事業では消費税の増税前の駆け込みによる9月仮需があったものの、10月反動減があったこと等により、25百万円の減収となりました。外食事業では、大型連休による東京圏離れ、7月と10月の東海、関東の天候不順があったものの、2018年12月1日より株式会社つば八が連結対象となり22億92百万円の増収となりました。

当第3四半期末において、酒販事業332店(前年同期比1店増)、外食事業977店(同29店減)、グループ合計店舗数1,309店(同28店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[酒販事業]

酒販事業につきましては、売上高は942億1百万円(前年同期比0.0%減)、営業利益は34億6百万円(同11.1%減)となりました。売上総利益は53百万円減少の194億61百万円(同0.3%減)となり、主にフレックス・アルバイト給与等の増加により、販売管理費が3億99百万円増加し160億55百万円(同2.6%増)となった結果、上記、営業利益が4億53百万円減少いたしました。

新規出店として、青森桜川店、弘前樹木店(青森県)、能代店(秋田県)、気仙沼上田中店(宮城県)、那珂湊店(茨城県)、五泉店(新潟県)の6店に加え、前期に旧店を閉店し、移転となる柳生店(宮城県)と江刺店(岩手県)の2店、計8店を開店しました。うち青森桜川店、弘前樹木店、気仙沼上田中店はダイソー併設店舗です。また、生駒南店(奈良県)と北神星和台店(兵庫県)の2店舗を閉店しました。

2019年12月末における酒販事業の総店舗数は332店(前年同期比1店増)となりました。

[外食事業]

外食事業につきましては、売上高は378億9百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は7億57百万円(同63.0%減)となりました。2019年12月末の飲食直営店は、527店(前年同期比1店増)、飲食F C店は、450店(同30店減)となり、飲食店の総店舗数は、977店(同29店減)となりました。

外食業界においては、お客様の選別志向は厳しく、原材料価格の上昇や人手不足の影響に加え、他業種を含めた競争の激化など、引き続き厳しい状況にあります。このような中、価値あるものを提供するため、食の六次産業化の深耕と地産地消・地産全消の継続的推進とともに、「食」と「酒」のベストバランスの実現で食の総合サービス産業の発展に取り組んでいます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて44億63百万円(6.2%)増加し759億18百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が9億89百万円増加し、商品及び製品が17億29百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて62億11百万円(19.7%)増加し377億54百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて17億48百万円(△4.4%)減少し381億64百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて27億18百万円(8.2%)増加し357億48百万円となりました。

流動負債は、買掛金が49億54百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて32億75百万円(11.9%)増加し307億52百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて5億57百万円(△10.0%)減少し49億96百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて17億45百万円(4.5%)増加し401億69百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の45.2%から44.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では2019年10月23日公表した数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,649	10,639
売掛金	4,407	6,872
商品及び製品	15,116	16,845
仕掛品	82	79
原材料及び貯蔵品	46	48
前払費用	989	1,020
その他	1,437	2,465
貸倒引当金	△188	△216
流動資産合計	31,542	37,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,853	35,655
減価償却累計額	△27,594	△27,386
建物及び構築物（純額）	9,259	8,268
機械装置及び運搬具	2,910	1,939
減価償却累計額	△2,666	△1,781
機械装置及び運搬具（純額）	243	157
工具、器具及び備品	9,437	9,534
減価償却累計額	△8,499	△8,650
工具、器具及び備品（純額）	937	883
リース資産	2,274	2,295
減価償却累計額	△1,657	△1,791
リース資産（純額）	617	503
土地	5,037	4,727
建設仮勘定	18	36
有形固定資産合計	16,113	14,576
無形固定資産		
ソフトウェア	9	65
のれん	10,128	10,065
その他	30	29
無形固定資産合計	10,169	10,161
投資その他の資産		
投資有価証券	1,169	1,235
関係会社株式	734	736
破産更生債権等	110	146
長期前払費用	170	166
差入保証金	9,878	9,735
退職給付に係る資産	31	34
繰延税金資産	1,491	1,346
その他	98	126
貸倒引当金	△54	△101
投資その他の資産合計	13,629	13,426
固定資産合計	39,912	38,164
資産合計	71,454	75,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,670	15,624
短期借入金	8,100	6,400
1年内返済予定の長期借入金	793	427
リース債務	182	162
未払金	2,724	3,104
未払費用	1,053	1,128
未払法人税等	1,239	522
未払消費税等	602	1,232
預り金	460	660
賞与引当金	886	342
その他	763	1,147
流動負債合計	27,476	30,752
固定負債		
長期借入金	295	53
退職給付に係る負債	277	290
リース債務	454	369
役員退職慰労引当金	595	557
資産除去債務	1,719	1,719
その他	2,212	2,006
固定負債合計	5,554	4,996
負債合計	33,030	35,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,813	5,796
利益剰余金	23,114	24,749
自己株式	△7	△8
株主資本合計	32,167	33,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	180
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	156	180
非支配株主持分	6,100	6,203
純資産合計	38,423	40,169
負債純資産合計	71,454	75,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	128,676	130,741
売上原価	85,360	86,462
売上総利益	43,315	44,278
販売費及び一般管理費	37,403	40,105
営業利益	5,911	4,173
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	23	24
受取手数料	57	55
持分法による投資利益	17	9
その他	66	111
営業外収益合計	171	208
営業外費用		
支払利息	8	4
店舗改装費用	31	31
店舗閉鎖損失	3	28
支払補償費	76	—
災害による損失	37	19
その他	12	22
営業外費用合計	169	107
経常利益	5,914	4,274
特別利益		
固定資産売却益	2	159
受取補償金	26	68
その他	—	3
特別利益合計	28	230
特別損失		
固定資産売却損	2	53
固定資産除却損	—	0
減損損失	201	400
その他	5	2
特別損失合計	208	456
税金等調整前四半期純利益	5,734	4,048
法人税、住民税及び事業税	1,802	1,531
法人税等調整額	308	106
法人税等合計	2,111	1,637
四半期純利益	3,622	2,410
非支配株主に帰属する四半期純利益	716	287
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,906	2,123

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,622	2,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	40
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△108	40
四半期包括利益	3,514	2,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,837	2,147
非支配株主に係る四半期包括利益	676	302

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社シーズライフを子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	93,159	35,517	128,676	—	128,676
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,067	0	1,067	△1,067	—
計	94,227	35,517	129,744	△1,067	128,676
セグメント利益	3,859	2,047	5,907	4	5,911

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において8百万円、「外食事業」において192百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,932	37,809	130,741	—	130,741
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,269	0	1,269	△1,269	—
計	94,201	37,809	132,011	△1,269	130,741
セグメント利益	3,406	757	4,163	9	4,173

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において41百万円、「外食事業」において359百万円であります。